

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	赤ちゃん本舗 狭山物流センター	階数	地上3F
建設地	埼玉県狭山市大字根岸字大道東64	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	60人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,267時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年7月3日
敷地面積	13,906 m ²	作成者	柴土
建築面積	5,267 m ²	確認日	2019年7月3日
延床面積	8,908 m ²	確認者	岡本



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	工場+倉庫+事務所として必要最低限の機能を満たす設計としている。	その他 0
Q1 室内環境	作業スペース300lx、事務スペース700lxを基本設定としている。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑化計画により必要緑化面積以上を確保した。
LR1 エネルギー	特に配慮を行っていない。	LR3 敷地外環境 自動車、自転車の駐車場の十分なスペースを確保した。
Q2 サービス性能	ペーパー用品、マニティー用品の物流センターとして配送サービスを充実している。	
LR2 資源・マテリアル	特に配慮を行っていない。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
赤ちゃん本舗 狭山物流センター**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
0 建築物の環境品質								2.2
Q1 室内環境					0.30			2.6
1 音環境				3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0		
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境				2.6	0.35			2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50			
1 室温				3.0	0.38	3.0		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38			
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0		
3 光・視環境				2.4	0.25			2.4
3.1 昼光利用				1.8	0.30			
1 昼光率				1.0	0.60	3.0		
2 方位別開口					-	3.0		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策				3.0	0.30			
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0		
3.3 照度				2.0	0.15	3.0		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0		
4 空気質環境				2.6	0.25			2.6
4.1 発生源対策				3.0	0.50			
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0		
4.2 換気				2.3	0.30			
1 換気量				3.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能				1.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理				2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	0.50			
Q2 サービス性能					0.30			2.8
1 機能性				2.2	0.40			2.2
1.1 機能性・使いやすさ				1.5	0.40			
1 広さ・収納性					-	3.0		
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.50	3.0		
3 バリアフリー計画				1.0	0.50			
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30			
1 広さ感・景観				3.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33			
3 内装計画				1.0	0.33			
1.3 維持管理				3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30			2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				1.8	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20			
3 電気設備				3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20			
5 通信・情報設備				1.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.8	0.30	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			5.0	0.43	-	-	
1	階高のゆとり	階高 平均5.35m	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.066	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.57	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	1.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.01	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.44	5.0	0.62	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.4
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:60%	4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			1.8	0.33	-	-	1.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	赤ちゃん本舗 狭山物流センター	BEE	0.7	BEEランク
------	-----------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.6	+	1.3	= 5.9	
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	4.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.6
< 配慮した内容を記述 > 特に配慮を行っていない			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
< 配慮した内容を記述 > 特に配慮を行っていない			

: 入力欄